



なは

市民の友

第677号 毎月1回発行
2007年(平成19年)

6月

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2007(平成19)年4月末現在	
総人口	316,159 (2,018)
男	152,687 (1,067)
女	163,472 (951)
世帯数	130,669 (1,203)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	93,366
真和志	105,305
首 里	58,146
小 禄	57,324

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 (株)近代美術



そうかい 気分漕快！女子も力こぶ

第33回那覇ハーリー

沖縄に若夏の到来を告げる那覇ハーリーが、5月3日から5日まで那覇港新港ふ頭で開催されました。那覇の三大まつりの一つとして、また、ゴールデンウィークの一大イベントとして恒例となった那覇ハーリーも、今年で33回目となります。ハーリーは、約600年前の琉球王朝時代に中国から伝わったとされており、爬龍船を漕ぎ競い合い、魚の安全や豊漁を祈願する沖縄各地で行われる伝統行事です。

他の地域が漁用のサバーを使うて競漕するのとは違い、那覇のハーリーは全長14・55メートル、重さ2・5トンの大型の爬龍船を用い、漕ぎ手32名、舵取り2名、鐘打ち2名、旗持ち他6名の総勢42名にもなり、県内で行われるハーリー行事の中では、最大規模になります。

今年の那覇ハーリーでは、初めて女子中学生のみの12チームによる対抗レースも行われました。

各チームが円陣を組み気合を入ると、応援団も太鼓などを使った応援合戦も繰り広げ、徐々にヒートアップ。女の子たちの力強い漕ぎが会場を更に盛り上げました。

また、那覇ハーリーのメインイベントの本ハーリーでは、那覇、泊、久米が白熱したレースを展開、泊が6年ぶりに栄冠を勝ち取りました。

主な紙面

- 「環境負荷の少ない地球にやさしいまち」をめざして 2
- 平成18年度市政功労者8名を表彰 3
- 住民健康診がはじまります 4・5
- 情報PACK 6・7

協働のまちづくり 那覇を紡ぐ



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。

みなさんは、「那覇市都市計画情報提供システム」をご存知でしょうか？

今年の一月からインターネットによる発信を開始し、これまで約三千六百件(四月末現在)の接続があり、多くの市民のみなさまに利用されています。

市では、「市民と行政との協働によるまちづくり」に力をいれています。

協働によるまちづくりとは、市民や行政とが持つ情報を互いに共有し合い、同じ目標で共通の目的を明確にし、計画段階から市民の声を取り上げて、まちづくりを実践していくことだと考えています。

そうすることで、「誇りを持ち、愛着を感じ、住みたいまち」の実現につながると思っています。

さて、前述の「那覇市都市計画情報提供システム」は、協働によるまちづくりに必要な情報の共有を目的として行政側の情報を発信しています。

内容としては、都市計画法に関する情報(例えば、建築の際、確認すべき用途地域、建ぺい率、容積率、公園、道路などの指定状況)を地図や住所検索にて容易に閲覧でき、調査・研究や学習など、利用者の目的にあった情報へ加工し

協働によるまちづくりに 「情報の共有は欠かせない」

ます。

お問い合わせ

都市計画課
☎951・3246

みなさんも一度利用されてみては、いかがでしょうか？

「互いの情報を開き」と協働は止まり、情報伝達がないとまちは動かない」と言われるくらい、「情報の共有は欠かせない」ものです。

市では今後とも、効率の良い情報の伝達に取り組み市民のみなさまとの更なる情報の共有化に努めていきます。



同システムのアドレスは以下のとおりです。
<http://www.city.naha.okinawa.jp/online/tpmap/>

本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せください。
☎862-9942 秘書広報課

再生紙を使用しています。